2016.12.16

【笹岡委員】　　（案）が取れたものの作成、ありがとうございました。改めて読んでみますと、公共特で言ってきたことも、パブコメ等でのことも含め、さまざまな細々とした変更や調整をしてくださったのだなと思いました。本当にありがとうございました。

　そこで質問なのですけれども、今回新しく市民意見交換会の参加者アンケート結果がかなり丁寧に載っていたかと思います。

先ほどの御説明にあったように、これは72ページの市民意見交換会、コミセンでわーっとたくさん行われたものなのですけれども、それを見ておりますと、アンケート回答数が199人で、世代間の構成比を見ていただきたいのですが、50代が17％、60代が30％、70代が34％ということで、改めて60代、70代、80代が71％を占めていたということは、なかなか高齢の皆様、高齢って今はその分け方もちょっと変わってくるのかもしれないのですけれども、上の世代の皆様の関心とかが高かったことだなと思います。逆に言えば、若い世代が、私は30代ですけれども、30代は２名とか、40代も少ないということで、そういった声はやはり市民意見交換会とかからだと拾いにくいのかなと思いましたが、今後そういったところの声とか意見とかを聞いていくことに関して、どういった方法とか改善を、改善というか、どうやったらそこの声を反映できるのかということはどのようにお考えかを伺いたいと思います。

　もう１点、私が一番意外だったのは、次のページの99ページなのです。居住年数が５年以上10年未満が84％ということで、でも、70％ぐらいが高齢の方なのです。なので、高齢の方がずっと武蔵野に住んでいる方かと思いきや、５年から10年ということだったのが私はとても意外でした。

悪くないことだと思いました。逆に、あのコミセンの60代から80代の集まりが、しかも10年未満の方々が活発であって、しかも市政への興味も持ってくださっている方がたくさんいるのだなということを思いましたが、逆に、この市民意見交換会ではちょっと抜けた層もあるなというふうにも感じましたので、この居住年数とコミセンの、改めてコミセンの役割というのを、ここには書いてあるのですけれども、39ページにはコミセンの検討内容と考え方というのが書いてあるのですけれども、ここの年齢のことですとか今後の課題については、この市民意見交換会から何か感じたことがあれば伺いたいと思います。

　もう１点は、教えていただきたいことなのですけれども、99ページの基本方針への賛成・反対状況の積極的賛成と反対比率から、これから数字を出していただいたことからわかることというのはどういうことなのかなというのを伺いたいと思います。以上、３点でお願いします。

【堀内総合政策部参事】　　ありがとうございます。先ほど申し上げましたように、この夏に全てのコミュニティセンターを回った際にいただいたアンケートをもとにして出したものでございますが、まず、性別とか居住地などに余り関係なく、このお示しをした10項目の基本方針については、全体としては賛成という傾向であったかなというふうに思っております。これはその意見交換会をやったことによって一定程度御理解が少しは進んだということかなと思っております。

ただ、先ほど御指摘いただきましたように、参加者の７割方が60歳以上の方ということで、年齢層に偏りがあるということでございます。20年、30年先の話でございますので、本来的には、実は若い方に影響が大きいということもございますし、ぜひ関心を持っていただきたいなというふうには思っているところでございます。

　そんなこともあって、一昨年になるのかな、漫画なんかもつくってみたり、いろいろな努力はしておるのですけれども、なかなか難しいところもございます。先ほど申し上げましたように、今後ワークショップなども考えていきたいと思っておりますが、例えばこれは無作為にするとか、いろいろなやり方はあると思いますので、ぜひ今後若い方にも関心を持っていただけるような方法あるいは広聴を考えてまいりたいというふうに思っております。

【笹岡委員】　　もう１点、このアンケート結果から見えてくるコミセンの役割といったものは、改めてどうお考えかということを伺いたかったことと、あと、では積極的賛成と反対比率というのは、大体10項目どれも賛成だということで、これはわざわざ４つ比率が書いてありますが、これの意味というのをもう一度伺いたいと思います。ごめんなさい、２点だけ。

【名古屋総合政策部長】　　コミセンの役割ということで、我々がこの夏に実施したアンケートから感じたことという御質問でございますが、このアンケートで、世代間の構成としては、やはりコミセンの場合はかなり高齢の方の比率があるし、若い方の利用というのはやはり課題なのかなというふうに感じますし、確かに居住年数については、これはちょっとまだはっきりどういう形でこういうふうになっているかという分析はそこまでは及んでいないわけでございますが、５年以上10年未満というところで多いというのは、私自身、個人的に感じていたところよりは割合やはり多いのかなというふうに思いますし、ただ、いろいろ御意見いただく中で、参加している方は、やはり最近移り住んできたとか、市内でもちょっと転居されているとか、そういう方は結構高齢の方でもいらっしゃいまして、そういう傾向があるのかなというふうに思います。

　それから、「積極的賛成／反対比率」で４つだけ出しているのは、これは積極的反対がゼロのところはちょっと数字が出ませんので、バーを引いているということでございます。

　以上です。

【笹岡委員】　　わかりました。あともう１点、今後、この武蔵野市公共施設等総合管理計画の（案）が取れた後のスケジュール等を伺いたいと思います。

　ここからは意見になるのですけれども、やはりこの市民意見交換会の結果、これはコミセンですけれども、見てわかるとおりに、本当に関係しているその30年後にも武蔵野市に住んでいていただきたいし、支えていっていただきたいと思っている層の声とか周知がやはりどうしても届きにくかったり、抜けがちになってしまいますので、特に子ども・子育て分野にかかわる公共施設に関しては、こういった声の拾い方とか住民への説明とかというのをとても慎重にやっていっていただきたいなと。やはり本当に皆さんいろいろなところに出かけて詳しく丁寧にやっていってくださったと思いますが、やはり関心とか難しいところだと思いますので、こういった長期に係る策定に関しては、そういったところ、反映しづらい声のところだけれども、やはり子ども・子育て分野というのはとても大事だと思いますので、ぜひ慎重に、また、何とか当事者の声を聞けるような取り組みとか工夫をしていっていただきたいと思います。

　以上です。